

## 富津市健康づくり推進協議会会議録

1 会議の名称	富津市健康づくり推進協議会
2 開催日時	平成22年6月28日(月) 14時28分～15時42分
3 開催場所	富津市役所5階 503会議室
4 審議等事項	(1) 平成21年度事業実績について (2) 平成22年度事業について
5 出席者名	会長(平野和夫副市長)、副会長(田中治実委員)、 渡辺隆二委員(教育長)、土戸啓史委員(君津保健所長) 高梨健二委員、有馬佐知子委員、廣田賀寿恵委員、 藤野一夫委員、磯部健一委員、前田道夫委員、 周東和之委員 以上委員11名 (欠席委員3名、 椎津裕貴委員・平野弁一委員・平野武男委員) 森田健康福祉部長・嶺次長(健康づくり課長)・正司参 事(国民健康保険課長)・鈴木課長補佐(健康づくり係 長)・堀岡特定健診推進係長・大塚課長補佐(国民健康 保険係長)・井主査・平野順子主査・平野幸子主査・栗 本主査
6 公開又は非公開の別	公 開
7 非公開の理由	
8 傍聴人数	0人 (定員10名)
9 所管課	健康福祉部健康づくり課健康づくり係
10 会議録(発言の内容)	別紙のとおり

上記会議の顛末を録し相違ないことを証するためにここに署名する。

平成22年7月16日

富津市健康づくり推進協議会 会 長 平 野 和 夫

署名委員 藤 野 一 夫

署名委員 有 馬 佐 知 子

## 富津市健康づくり推進協議会会議録

発言者	発言内容
<p>事務局 鈴木課長補佐 (健康づくり 係長)</p>	<p>定刻になりましたので、只今より富津市健康づくり推進協議会を開催させていただきます。</p> <p>私は、健康福祉部健康づくり課係長の鈴木と申します。会議の進行役を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>3月末の任期満了に伴い皆様には、先般新たに委員の委嘱をお願いいたしましたところ、快くお受けいただきましてありがとうございます。</p> <p>今回が初めての会議となりますが、この会議は富津市情報公開条例第23条により会議の公開と会議録を閲覧に供さなければならないこととなっております。従いまして傍聴人の受け入れと会議の公表による会議録署名委員の指名についてご理解いただきたいと思います。</p> <p>本日の傍聴人はおりません。</p> <p>本日の出席委員は、14名中3名欠席で過半数に達しておりますので、協議会設置要綱第6条第2項の規定によりまして会議は成立いたしておりますので、ご報告いたします。</p> <p>なお、委員の紹介ですが、別紙名簿、席次表により紹介に代えさせていただきます。</p> <p>それでは、次に市長が公務のため出席できませんので代わりまして副市長からご挨拶を申し上げます。副市長お願いいたします。</p>
<p>平野副市長</p>	<p>皆さんこんにちは。本来であれば市長がご挨拶申しあげるところですが、公務のため代わりましてご挨拶申し上げます。</p> <p>本日は、大変お忙しい中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>また、日ごろから委員の皆様におかれましては、健康づくりの推進はもとより、市行政に御支援、御尽力を賜りまして、厚くお礼申し上げます。</p> <p>新しく委員になられた方もいらっしゃいますが、今年の4月から平成24年3月まで新たに2年間の任期ということで、よろしくお願いいたします。</p> <p>昨年度は、新型インフルエンザが流行いたしまして、手指消毒剤や薬用石鹸を保育所や小中学校等の公的機関に置くことを実施し、非課税世帯の方には無料で予防接種を実施いたしました。</p> <p>また、妊婦健康診査の公費負担で受診できる回数が5回から14回に増えています。女性特有のがん検診といたしまして、一定の年齢の方に無料で乳がん検診と子宮がん検診を実施いたしました。</p> <p>詳細につきましては、後ほど議題の中でご説明いたします。</p> <p>さて、本日の議題といたしまして、(1)平成21年度事業実績について、(2)平成22年度事業について、でございます。</p>

	これから事務局より説明がありますがご審議いただき、御意見、御指導を賜りますようお願いいたしまして挨拶に代えさせていただきます。よろしくようお願いいたします。
事務局 鈴木課長補佐	ありがとうございました。 続きまして、協議会設置要綱第5条に、「協議会に会長及び副会長を置き、それぞれ委員の互選によりこれを定める」となっておりますが、会長がまだ決まっておられませんので副市長に仮議長をお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。
	(異議なしの声あり)
事務局 鈴木課長補佐	それでは、仮議長を副市長をお願いいたします。
仮議長 (平野副市長)	それでは、仮議長ということで務めさせていただきます。 はじめに会長の選出について、お願いしたいと思います。どなたかご意見、あるいはご推薦をしていただける方がおりますでしょうか。
前田委員	平野副市長をお願いしたいと思います。
仮議長 (平野副市長)	他にはおられませんか。 今副市長にということで、再度お願いしたいということですが、皆さん、いかがでしょうか。
	(異議なしの声あり)
仮議長 (平野副市長)	異議なしということでございますので、ご推薦いただきましたので皆さんのご協力をいただきながら2年間また会長の職を務めさせていただきますので、よろしくようお願いいたします。
事務局 鈴木課長補佐	ただ今会長が決まりましたので、副会長の選出以降、議事の進行等につきましましては、健康づくり推進協議会設置要綱第6条により会長に議長をお願いいたします。
議長 (平野副市長)	それでは、改めて議長として進めてまいります。 次に副会長の選出について、お願いしたいと思います。どなたかご意見、あるいはご推薦していただけますでしょうか。
前田委員	会長一任
議長	会長一任との意見がありますが、ほかにございませんか。  ないようでしたら私の方から推薦させていただきたいと思います。 それでは私から、君津中央病院大佐和分院長であります田中先生に

	<p>お願いしたいと思います。田中先生よろしいでしょうか。</p> <p>(田中先生 承諾する)</p> <p>ありがとうございます。田中先生に了解していただきました。 それではここで、副会長となられました田中先生に一言ご挨拶をお願いいたします。</p>
田中副会長	<p>皆さんこんにちは、田中と申します。ご指名ですので力不足ですが、この会が充実したものになるように努めさせていただきたいと思っております。よろしく申し上げます。</p>
議 長	<p>次に会議録署名委員の指名ですが、会長のほか2名でございます。選出方法は、いかがいたしましょうか。 私の方で一任ということでよろしいでしょうか。</p>
	<p>(異議なしの声あり)</p>
議 長	<p>それでは、会議録署名委員に有馬佐知子委員、藤野一夫委員を指名させていただきます。 よろしく申し上げます。 それでは、只今より会議次第により議事に入らせていただきます。 ご審議の程よろしくお願いたします。 最初に議題(1)平成21年度事業実績報告について、を議題といたします。担当課から説明をお願いします。</p>
嶺次長(健康づくり課長)	<p>それでは、健康づくり課の平成21年度事業実績報告について、ご説明いたします。 (会議資料2ページから8ページに基づき報告を行った。)</p>
堀岡特定健診推進係長	<p>それでは、国民健康保険課の平成21年度特定健康診査等事業についてご説明させていただきます。 (会議資料9ページに基づき報告を行った。)</p>
議 長	<p>それでは、事務局から平成21年度事業実績報告について説明がありました。これについてご意見、あるいはご質疑等承りたいと思っております。何かございますか。</p>
渡辺委員	<p>見方がわからないので教えてください。2頁3頁4頁あたりの表ですけど、対象者という欄があるのですが、たとえば2番の肝炎ウイルス検診40歳と伺いましたが、20年度21年度で40歳の人がこれだけしかいないという事ではないですよね。その隣の胃がん検診とか子宮がん検診の対象者が20年度21年度皆同じ数なんですけど、これはどういう数なのか教えていただければ。</p>
議 長	<p>はい、事務局</p>

鈴木課長補佐	<p>肝炎ウイルス検診につきましては、節目健診の40歳の方と節目外検診の40歳以上の方でまだ受けていない方ですが、節目健診の40歳の方にハガキを送付しますので、その送付した数です。</p> <p>胃がん検診等につきましては、担当者から説明いたします。</p>
平野幸子主査	<p>これは、市町村によって対象者の把握方法がまちまちだということで、国で決めたやり方で平成17年度の国勢調査の人口で割り出しています。ですから5年間はそのままということになってしまいます。</p>
廣田委員	<p>6頁の家庭訪問指導ですが、必要に応じて家庭訪問を実施とありますが、個人的に相談したいことがあったら来ていただけるということですか。</p>
栗本主査	<p>特定健診や若年健診を行った後、結果を見たときに支援していかなければならない対象者の中で面接する方、面接できなくて家庭訪問する方、できるだけお会いできるように設定するんですが、必要に応じてこちらから連絡して家庭訪問をするようにしています。</p>
廣田委員	<p>一回はそういった何かの会合に出てそういった状況をお話ししてその後おたくの方で選択して来るということですね。</p>
栗本主査	<p>健診結果を何らかの手段で説明させていただくのですが、どのようにして改善して行ったらいいか、支援のために家庭訪問に行ったり、来ていただいたり色々な手段でその後のフォローを考えています。</p>
廣田委員	<p>一人暮らしの人で行かれなかったり、相談したいという人がいるのじゃないのかと思いましたので。</p>
議長	<p>健康診査の結果でやると思いますが、健康診断に行かれないとか、相談したいことがある時はどのようにしたら良いのかということですね。市役所に連絡したい場合とかはどうしたら良いかというご質問だと思いますが、いかがですか。</p>
栗本主査	<p>健診のご案内は広報とか個人通知で行うのですが、受診できないとか行かれないとかありましたら、国民健康保険課か健康づくり課の窓口にご相談があれば。</p>
議長	<p>では、そのようなことがもしあればご指導いただければありがたいですが。他にございませんか。</p>
周東委員	<p>今の関係で具体的な例があるのですが、二人暮らしで一人が歩けなくて家にいる人で、風呂も入れないで周りの人は病院に行った方がいいというけど本人は行かないような、健康を害しているような人は健康づくり課に電話すれば家庭訪問してくれるのですか。</p>
議長	<p>難しいと思いますが、事務局の方どうですか。</p>
周東委員	<p>周りの人も手に負えないような状態で、健康診断に行けないような状態の人を何とかして欲しいのですが。</p> <p>民生委員の人とかがまずタッチすると思いますが、首に縄をつけて引っ張って行くわけにもいかないし。</p>

栗本主査	健康づくり課は健康増進法に基づいて事業を行っていますが、寝たきりとか、障害がある方々は介護福祉課とか障害の担当課に相談していただいた方がより身近な福祉が受けられると思います。健康づくり課はどちらかという予防を重視した様な取り組みとなっておりますので、障害のある方とかはそのような課に相談していただいた方が良いと思います。
森田健康福祉部長	健康づくり課が説明しましたように、課の目的といいますか重点的な活動が違いまして、今のご質問にありました健康を害している方は、社会福祉課とか介護福祉課、特に介護福祉課は包括支援センターもございますのでお年寄りの相談は、受けるということで24時間対応の中核支援センターとか色々窓口も用意してございますので、障害の精神・身体も社会福祉課で受けておりましてご相談があればケースワーカーとか社会福祉士が訪問して、現状把握の上対応策を講じることになっておりますので遠慮なくご連絡いただければと思います。また、地域の民生委員さんが88名おられまして、民生委員さんにご相談していただいても民生委員さんを通じて社会福祉課とか介護福祉課に上がってくるようになっておりますのでよろしく願いいたします。
周東委員	今のお話ですと健康診断が主だと言われましたが、市長から委員の委嘱についての文書を見ますと委員とはこういうことだということで、健康管理をしていくために運動・栄養・休養の三原則を基礎とし、総合的な健康づくり対策を積極的に推進すると書いてあるのを見ると健康診断だけだとおかしくなってしまう。健康診断もそのうちのひとつだと思いますが、他のものが抜けているように思いますが。
議長	原則とすればですね、健康福祉部で全てやっておるのですが、予防が主な事業になっていきますが、そのような状況になったら連携をとりながら対応を図ってまいりますので、どこに電話が入ってもそこに連絡が行くような体制に、部長がおりますので周知徹底をまいります。縦割り行政の是正は、役所の方が直していかなければならない話ですので、よろしく願いします。
土戸委員	<p>大変色々な検診事業で赤ちゃんからお年寄りまで、1年に渡って頑張っていると思います。今の予防ということに少し絡んでくるのですが、健康診査にしてもがん検診にしても受診してくれる方がなかなか増えない。問題なのは、市の健診を受けなくても自分の健康管理をなんとかされている方がはたしてどのくらいいらっしゃるのかということと、がん検診の方は、検診を受けてくれた方がいいに決まっていますけれども、受けない方はむしろ肺がんであればたばこの対策ですとか、子宮がんであればワクチンの接種であるとか、本当の予防活動を充実させていくことが一番重要ではないかと思っています。</p> <p>ただ、今日出していただいたのは健診の実績ということなのでそこまで言及していいことなのかちょっとわかりませんが。</p>

議 長	<p>他にございませんでしょうか。</p> <p>ご意見もないようですので、平成21年度事業実績報告について、をご了承させていただきたいと思います。</p> <p>皆様から頂いたご意見ご提言等につきましては、今後の健康づくり推進のために生かしていきたいと思います。</p>
議 長	次に、議題（2）の平成22年度事業について、担当課から説明してください。
嶺次長（健康づくり課長）	健康づくり課の平成22年度事業について、ご説明いたします。（会議資料11ページから13ページに基づき報告を行った。）
堀岡特定健診推進係長	国民健康保険課の平成22年度特定健康診査等事業についてご説明させていただきます。（会議資料14ページに基づき報告を行った。）
議 長	<p>事務局の説明が終わりました。</p> <p>只今の説明に、ご質疑ご意見等ございましたらお願いいたします。</p> <p>今年度事業はスタートしておりますが、委員さんの方からこういうことがあったらいいのではないかとか、どういう意見でも結構でございますのでよろしく申し上げます。</p>
磯部委員	<p>国民健康保険課の方から特定健診ですか、事業で区で集まりがあったときやっていただけるのは大変ありがたいことだと思います。それと同時にもう一つは、住民の方は時間的なものと広報で情報が入ってくるのですが、はたしてどれが必要なのなかなか理解できない。広報には色々な情報が入っています。例えばその中で自分の健康についてどこの所を見たら良いか、なかなか解りにくい面もあるのでそういう所もご配慮いただければなという考えでおります。それから今年の新規事業で国の方からの対策ということで百八十何万の予算がついて連絡協議会を作るといようなことなのですがこれについて、どのような組織でどのような内容のものを考えておられるのか。この内容については、非常に難しい面もあると思います。</p> <p>これを全市的にどのように取り組んで行かれるのかですね。わかる範囲で。</p>
議 長	事務局お願いします。

<p>嶺次長（健康づくり課長）</p>	<p>今ご質問のありました地域自殺対策緊急強化基金事業につきましては、まだ連絡会議の方は立ち上げていませんが、今後県・国の指導によりまして立ち上げる方向で進んでいます。予算が180万円ほどございますが、この内容としましては、ほとんどがパンフレット等独自に作成しまして市民の皆さんにお配りして周知していただくような形を取ろうと考えております。まだ県・国の方から指示等が来ていませんのでそこまでしか現在お話しすることがございませんが、よろしいでしょうか。</p>
<p>磯部委員</p>	<p>はい。</p>
<p>議長</p>	<p>よろしいですか。</p> <p>今委員さんの方からあったPRの話ですが、自分の健康診断など、どういうところでどのように受けたら良いかというものが、もし詳細にわかるような形でPRできればという意見としてお願いします。</p> <p>また、今年は市でホームページのリニューアルをしたいと思いますからその中でそういったものを活用して健康というものにプラスアルファができればということで、事務局の方をお願いしておきます。</p> <p>健康診断の場合関心のある方とない方と極端な感じがしますので、その辺についてはレベルアップする形で啓蒙活動だとか説明だとかするように希望します。</p> <p>他にございませんか。</p> <p>ないようでございますので平成22年度の事業についてご承認をいただいたものと思います。</p> <p>次に（3）その他でございますが何かございませんか。</p>
<p>前田委員</p>	<p>昨年この会議で前立腺がんの健診17年18年の受診率が70%を超えているから是非早期に健診を実施していただきたい。</p> <p>それと君津中央病院大佐和分院の外科の要望を申し上げたところでございますが、その後の経過についての説明をいただきたいと思えます。</p>
<p>嶺次長（健康づくり課長）</p>	<p>まず、前立腺がんの説明ということでございますが、平成19年度から市の健診は中止しております。四市や医師会と協議した結果受け入れの方が困難ということで状況の方は変わっておりません。</p> <p>健診事態受けることはできますが、精密検査の場合の受け入れ先がこの管内には現在ございませんので医師会の方はできないという状況になっています。近くを調べましたら病院で受け入れができる場所は亀田総合病院と帝京病院しか近くにはございません。</p> <p>内容について聞きましたところ、受け入れは多少はできますけど予約をしていただかないとできないということで、すぐその場所で受けることは難しいようなことになっております。以上でございます。</p>

土戸委員	<p>そのことで質問させてもらっていいですか。</p> <p>前立腺がんの検診というのは、全国的にやっている所もあるのですが健診を評価する専門家の人たちの間で意見が真二つに分かれています。検査するのは簡単なのだけでもその検査で陽性になった人が本当に早く見つけなければいけないがんなのか、それともちょっとオーバーにひっかけ過ぎてしまって放っておいても大丈夫なものまでひっかけているのではないかとその議論がまだ真二つに分かれていますので、やることをあえて止めるつもりはありませんけれども、やるのであれば有効なものとして、お金がかかるわけですからそこをきちんと判断してからでないといけないと思っています。今は精密検査の受け入れの話で、その前の話でまだ決まっていませんけど。</p>
議 長	他にございませんか。
嶺次長（健康づくり課長）	二番目の質問で分院の外科の要請の関係ですが、今全国的に医師不足となっています。中央病院の本院も分院も医師が不足しております。色々確保対策はしておるところでございます。要請について中央病院の本院に話はしてありますが、大変難しいということで、そんな状況でございます。
議 長	他に、ございませんか。
周東委員	献血事業で予算を取ってありますね。市で予算を使う必要があるのでしょうか。
鈴木課長補佐	献血につきましては、市の方から献血をしていただいた方に大体百円程度の物を差し上げるということで、市で用意して献血会場に持って行き、お配りしております。以上です。
議 長	他に、ございますか。
健康福祉部長	参考までにでございますが、君津中央病院のドクターヘリの関係で大変利用が増えておりました。毎日出動するような状況で木更津君津より富津市が四市の中で断トツに利用が多いということで、夷隅とか遠いところの方が安房とか要請が多いということで成果を上げておりますので、今後ともよろしくお願ひします。
嶺次長（健康づくり課長）	今のドクターヘリ関係でここに資料がございますので、皆さんに報告したいと思います。平成20年度これは1月の初めからドクターヘリが就航しておりますけど、20年度につきましては54回出動しております。平成21年度につきましては、325回出しております。富津市の場合四市の中では一番多くなっています。富津市は38回、木更津市が6回、君津市が13回、袖ヶ浦市が25回あとは市外、長生・夷隅・安房という形になっております。以上です。

森田健康福祉 部長	<p>20年度は12月からですから54回というのは3ヶ月間程度で1年間の統計としては1日1回以上飛んでいる。雨の日とか飛べない日もあるので、1日2回や3回は飛ぶということになります。</p> <p>風が強かったり、すごい天気だったり、夜間も飛ばませんので。大変有効に使わせていただいております。以上です。</p>
議 長	他に、ございませんか。
周東委員	健康づくり課の中に保健師の資格を持った人がいるでしょう。看護師もいるんですか。
嶺次長（健康 づくり課長）	健康づくり課の看護師は2名おります。
周東委員	<p>健康づくり課で保健師さんとか看護師さんとか、たとえばふれあいフェスタとかマラソンの大会とかね、そういう健康づくりとしてやっているわけだからもっと健康づくり課とタイアップして色々な所に出てきて一緒にやって欲しいと思うのですがいかがでしょうか。</p> <p>7月4日に富津公園で歩け歩け大会をやるのだけど特に暑いから具合が悪くなる人も出てくると思うんだよね、そういう所に健康づくり課の人がいればすごく対応がやさしいと思うんです。</p>
議 長	かなりの回数で出ておるのですが、二人だということと、あと就労規定がありまして、許す範囲の中と結構出ておりますので、その辺はまた対応は意見ということで、今健康づくり課が居りますので。
廣田委員	<p>あとちょっと見ていると、健康診断とかせっかくなのに2%とか9%とか10%以下で勿体無いような気がして、皆さんが行かれるような良い方法がないかなと、予算も取ってありますし、そういった日日も設けているのに勿体無いような気がするんですよね。</p> <p>婦人会で集まったときなど健康教室などをお願いしたりして、そういう時に話をしたら違うかなと、せめて10%以上ね、相手があることだからなかなかそうはいかないでしょうけど。</p>
森田健康福祉 部長	健診等の機会を増やすことは、至上命令だと思います、韓国は50%を超すという健診ブームで特に女性のがん検診を受けることが多いそうですが、我々もがん検診の健診率を上げるために健康づくり推進協議会委員さんのお知恵を拝借しながら知恵を絞って地域特有の催し物等ございますでしょうから、そういうことを参考にしながらやっていきますので今後ともよろしく願いいたします。
議 長	先程も会議の前に聞いたんですが、国民健康保険課の特定健診で予防ということで歩け歩けというウォーキング教室を一昨年から始めまして、今年は3年目ということで今回は大佐和地区にコースを作るというようなことで、昨年は湊の海浜公園で、最初の時がふれあい公園の中で歩く専門の方を呼んで歩き方からはじめてそこにボランティアで、先ほどから話が出ています食生活改善推進員、これは一昨年からはスタートしたんですが、ボランティアで食べることと歩くこと、

	<p>運動とどういう形でやったらいいかということを試みる千葉県でも新しいことをやっています、そういったことをつなげていきたいということが一つと、先程おっしゃったように団体等に説明をさせていただいて、漁協や農協だとかそういったところをお願いして、また講習会を開かせていただいて受診率を上げたいという努力を今年は一生涯懸命やろうなという話もしておりました。</p> <p>そういうことでまた皆さんのお知恵を借りて受診率を上げたいなと、上げないと国からももらえるものがもらえなくなってしまうので一生涯懸命やりたいと思っております。</p>
藤井委員	<p>先程来参加する人が少ないという話なんですが、広報の仕方、健康診断等今日ここで出ている議題だけにかかわらず、全般的に皆に知らしめるということが足りてないように思うんですね。あとでそんなことがあったのと随分言われます。地域でね。ですから市の全体の考えとしても知らせることの方法をいろいろ講じていただけたらいいのかなと思います。よろしくひとつお願いします。</p>
土戸委員	<p>健康診断受けましょうというよりも、市民の人が自分の血圧いくつってわかっているのか。わかっている人が40%~70%いれば自分の血圧高かったら健診行きましょうとなるんでね。自分の健診の数値一個でいいんです。知ってるか知ってないかその率を上げるだけでも全然違ってきますよね</p>
藤井委員	<p>そういった、持って行き方もあるんですね。</p>
正司参事 (国民健康保険課長)	<p>国民健康保険課では、只今申し上げましたように、出前講座とか、それから地区からの要望によりまして、国民健康保険の勉強会というのをやっています。私もあるたびに行ってお話をさせていただきます。その中には、当然健康診断の脳年齢の測定とか、血管年齢とか血圧測定そういったものをその場で職員がやりまして毎年、去年と今年はこう違うんですよとか、そういうことでやらせていただいております。そういった中で色々な検診であるとか特定健診、こういったものを地区に回って今後PRしていきたいということで今進めています。</p> <p>是非出前講座を利用していただくなり、私共に直接お電話いただければ、地区に職員が出向いてそういった健康診査或いは健康づくりに必要な要望のための情報であるとかそういったものを提供するよう今進めているところでございますので、是非ご連絡なりいただければ直ぐに出向いてそういったものを提供していきたいと考えています。</p>
議長	<p>行政が待ちから攻める方向に変えていかざるを得ない。お節介と言われても出前講座でもお節介講座でも構わないから皆さんの為ですので、職員も考えておりますので、お知恵をいただければと思います。</p>

議 長	<p>他にございませんか。</p> <p>それでは、ないようでございますので、以上をもちまして本日の会議を終わりたいと思います。</p> <p>また、皆様から頂いたご意見・ご提言は、今後の健康づくり推進のために活かしていきたいと思いますので今後ともご指導よろしくお願ひ申しあげまして閉会の言葉といたします。</p> <p>どうもありがとうございました。</p>
-----	--